

くずまき 議会だより



新たな議会体制がスタート
町民に開かれた議会を目指す

2p

今ここが聞きたい ～5議員が町政を問う～

6p

中学生と意見交換 ～ふるさと懇談会～

14p

友好の契りを再確認 ～常任委員会県外視察～

16p

笑顔のつどい²⁰



表紙

新議員の顔ぶれ
(関連2～5P)

輝くふるさと常任委員会

- 委員長 鈴木 満
- 副委員長 山崎 邦 廣
- 委員 高宮 一 明
- 〃 辰柳 敬 一
- 〃 山岸 はる美
- 〃 姉帯 春 治
- 〃 柴田 勇 雄
- 〃 大平 守 弘
- 〃 畑 福 弘

※議長を除く、9人の議員で構成しています。
町政全般に関する調査や議案、請願、陳情などの審査を行います。

広報常任委員会

- 委員長 柴田 勇 雄
- 副委員長 山岸 はる美
- 委員 大平 守 弘
- 〃 山崎 邦 廣
- 〃 畑 福 弘

※議会だよりの編集や議会放送に関することを担当します。

議会運営委員会

- 委員長 姉帯 春 治
- 副委員長 大平 守 弘
- 委員 鈴木 満
- 〃 畑 福 弘

※議長の諮問に応じて、議会の日程や運営に関する事項を協議します。

広域連合・一部事務組合議会議員

- 岩手県後期高齢者医療
広域連合議会議員
高宮 一 明
- 盛岡地区広域消防組合
議会議員
辰柳 敬 一
- 盛岡北部行政事務組合
議会議員
姉帯 春 治
大平 守 弘
山崎 邦 廣

監査委員（議会選出）

辰柳 敬 一

政務調査会

- 会長 高宮 一 明
- 副会長 山岸 はる美
- 幹事 鈴木 満
- 〃 山崎 邦 廣
- 監事 柴田 勇 雄

※町政全般にわたる調査、研究、協議などを行います。

投票の結果

議長選挙		副議長選挙	
中崎 和久	7票	高宮 一 明	7票
山岸 はる美	2票	山岸 はる美	1票
白票	1票	白票	2票

町民に開かれた 議会を目指す



町民の皆さんへ

このたびの議会議員改選に当たり、議員各位のご支持により名誉ある葛巻町議会議長を引き続き担うことになりました。

町では葛巻病院と江刈小学校の改築、そして何より待ち望んでいた、まちなかのバイパス道路など大きな事業が目白押しです。

私も議会は、少子高齢社会の中さらに開かれた議会を目指し、そして今後も町民の皆さんの要望にしっかりと対応できる組織であり続けるため、皆さんの意見を伺いながら10人の議員で一致団結して取り組んでまいる所存であります。

今後とも引き続き議会に対するご指導とご協力をお願い申し上げます。



中崎 和久 議長

議員改選後の初議会が1月20日に開かれ、当選した議員10人は決意を新たに出席しました。
会議では、議長・副議長の選挙、常任委員会の委員の選任などが行われ、議会の組織体制を決めました。
常任委員会などの新たな議会体制は、次のページのとおりです。

議長に中崎和久議員
副議長に高宮一明議員

4年間よろしく
お願いします。



議員の紹介

葛巻町の発展のために、全力で頑張ります。

1月19日の任期満了により執行された一般選挙で当選した議員を紹介します。【任期:平成28年1月20日から32年1月19日まで】



6番
姉帯 春治
〔無所属・5期目〕

(根地戸・64歳)

葛巻町議会は、岩手県で最小の議員数です。町民から向けられた責任は重いと感じています。町の課題をよく話し合い、議会で決まったことは一枚岩で、町づくりに努力します。



5番
鈴木 満
〔無所属・4期目〕

(小屋瀬・54歳)

このたびの町議会改選で4期目の当選をさせていただきました。今後より一層多くの町民の皆さんの意見を聞く機会を設けながら、微力ですが葛巻町の発展に尽力する所存です。



8番
辰柳 敬一
〔無所属・8期目〕

(辰鼻・70歳)

「誠実に勝る知恵は無し」を肝に銘じ、様々な行政課題の解決に向け、今後4年間を一生懸命取り組みますので、よろしくお願いします。



7番
山岸 はる美
〔無所属・6期目〕

(山岸・57歳)

私たちを取り巻く社会環境は、大きく変わってきています。これからも、女性、高齢者、子どもの目線で意見を聞きながら、町政に対して発言していく議員でありたいと思います。



2番
山崎 邦廣
〔無所属・2期目〕

(小田・61歳)

引き続き町議会議員として努めさせていただくことになりました。町の将来を見据え、その職責を果たすべく安全安心な町づくり地域づくり及び地域の活性化のため、地域の声を町政へ届けてまいります。



1番
畑福 弘
〔日本共産党・1期目〕

(境の沢・63歳)

豊かな自然を守り、安全・安心・平和な町づくりに努力し、住民の声を町政へ届けます。子どもからお年寄りまで、生きている喜びを感じ合える町づくりに努力します。



10番
中崎 和久
〔無所属・9期目〕

(橋場・61歳)

少子高齢社会の中で、これからの町のあり方を皆さんと一緒に考えます。そのため懇談会を続け、町民の皆さんの要求にしっかりと応えられるように力を尽くします。率直なご意見をお寄せください。



9番
高宮 一明
〔無所属・7期目〕

(中村・68歳)

酪農・林業の産業振興を図り、雇用の拡大、医療・福祉施設の整備による福祉の充実に努めます。また、生涯学習や保育園、小中学校、葛巻高校の教育環境の整備を図り、町民の皆さんと一体となって活力ある町づくりに努めます。



4番
柴田 勇雄
〔無所属・4期目〕

(新町・71歳)

2期連続の無投票当選となり、責任の重大さをさらに痛感しています。「時々の初心忘れるべからず」を胸に、皆さまの声を大切にし、議会で大いに議論を戦わせて町の将来を決定します。常に「是々非々」の立場で4年間全力投球します。



3番
大平 守
〔無所属・2期目〕

(田子・67歳)

一昨年の補欠選に続き今回も無投票当選となり、複雑な心境と大きな重責を感じております。安心安全と融和を大切に、住んで良かったと思える町づくりが重要なため、町政へ皆さま方の要望ご意見を代弁してまいります。



すずきみつる 鈴木 満 議員

12月7日に、5議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 町有財産の活用策は

答 施設の統合や複合化を検討

議員 町有財産の未利用地や施設などの現状と、今後の活用策を伺います。
町長 町の土地・建物は、行政財産（※1）と普通財産（※2）に分類されています。

土地・建物の保有状況は、土地の総面積が約2750万2千平方メートル、建物が259施設で総床面積が約10万平方メートル、うち普通財産は、土地が約2296万9千平方メートル、建物が56施設です。
普通財産は、希望があれば総合的に検討して貸付などを行っているほか、閉校校舎などの施設は、自治会などで利用されています。

普通財産の利用率は、建物が91・1%、土地は26・1%です。土地の場合、山林の占める割合が81・6%のため、低い利用率となっています。

行政財産の今後の活用は、公共施設などの更新時期が集中するため、施設の長寿命化、統合、複合化など施設の状況に応じた対応を進めながら、社会情勢の変化によって多様化する町民ニーズを踏まえて、今後の整備を検討します。

普通財産は、既存資産の有効活用、貸付け可能な資産は引き続き貸付けを継続し、遊休化している資産は新たな貸付けや売却などを考えます。老朽化が著しい施設は、維持管理コストや景観などを勘案し、解体撤去なども検討します。

（※1）行政財産
公用又は公共の用に供するための財産
（※2）普通財産
行政財産以外の山林や土地、用途廃止した学校や施設など

問 保育園施設の今後の運営は

議員 保育園、児童館の園児数の推移と、今後の在り方を伺います。

答 支援策を充実し入園者を確保

町長 就学前の児童数は27年4月現在194人で、12年と比較して167人が46・3%減少し、少子化が深刻な状況です。

保育園と児童館を合わせた、就学前の児童の入園者数と入園率の推移は、17年が139人、51・5%、22年が127人、63・8%、27年が144人、74・2%で入園率は



葛巻保育園のクリスマスお遊戯会の様子

増加しています。この要因として、共働き世帯が増加し、0歳児から2歳児までの入所者が増えたことなどが考えられます。
一方で、児童館のみの利用者数は、12年の13人に対し、17年と22年は各7人、25年は5人と、この15年間で3分の1まで減少しています。

今後は、体験活動、町や地域行事への参加、世代間交流などの各保育園や児童館の活動内容などの子育て支援対策を充実させ、入園者の確保に努めます。

答 詳細設計を発注 現道拡幅の考え

町長 大橋は架設から50年以上経過し、また、付近の道路線形の抜本的な見直しが必要なことから住民説明会を開き、地域の声を参考に改修事業に着手しました。

一級河川の馬淵川に架かる大橋の架け替えは、河川管理者の県との協議が必要で、現在、県代行事業で進めている茶屋場田子線と同様に、県から技術的アドバイスを受けています。

現在、道路詳細設計と橋の基本設計を発注しました。住民説明会での声を踏まえ現道を拡幅する計画です。一方、現道は民家が密集していることから拡幅用地の確保が難しいため、現道と並行して流れる外川の切り替えなどの検討を進めています。

問 18歳選挙権への対応は

答 政治的教養教育などを推進

議員 28年6月から実施される選挙から選挙権が「20歳」から「18歳」以上に変更されました。高校3年生の一部も新有権者となりますが、18歳選挙権による町の対応を伺います。

町長 少子高齢化が進む中、次代を担う若者が日本のある方を決める政治に参加することは、意義深いと思っています。

一方で政治に参加するための必要な力をしっかりと身に付け、社会、経済、国際関係など様々なことを自分なりの考えで判断し、誰かに任せられるのではなく積極的に国や町づくりに関わることが重要と考えます。

27年11月から28年6月までに20歳の誕生日を迎える方は26人、19歳が36人、18歳到達者が55人で合わせて117人が新有権者となります。

現在、小・中学校、高校では、学習指導要領により児童・生徒の発達の段階に応じた「憲法」や「選挙」、「政治参加」などの教育が行われています。葛巻高校では、昨年11月に選挙の歴史や投票の流れを学習する模擬投票を関係機関の協力により体験しました。小中学校でも町議会主催の子ども議会やふるさと懇談会が開かれ政治的教養教育を進めています。

問 大橋の周辺整備 進行の状況は

議員 浦子内入口の大橋は老朽化が進み、周辺は町道が狭く、車のすれ違いができない状況です。現時点での改修整備計画の進行状況を伺います。



葛巻高校で行われた模擬投票体験



あねたい はるじ 姉帯 春治 議員

問 冬部児童館の施設整備は

答 公共施設との複合化など検討

議員 築40年を経過した冬部児童館の施設整備と今後の運営のあり方を伺います。

町長 冬部児童館は、15年度に旧冬部へき地保育園の閉園に伴い開設され、現在の施設利用者数は、就学前児童3人、学童が1人で、ここ10年間は横ばいで推移しています。

冬部児童館の施設は、旧冬部へき地保育園として昭和48年4月に開設し築42年を経過しています。これまでも、児童福祉施設の長寿命化や保育環境の充実のため施設改修などを行い、施設の利用者である子どもたちが、安全で快適に保育できるように努めてきました。今後の施設整備は、入園者数の動向や保育ニーズを踏まえ、他の公共施設との複合化なども視野に入れながら総合的に検討します。



地域の方と「みずきだんご」を作る冬部児童館の児童ら

問 町道毛頭沢線雪崩防止策は

議員 町道毛頭沢線で、毎年発生している雪崩に対する防止策の考えを伺います。

答 雪崩防止柵の増設を進める

町長 本路線は道路の幅が狭く道路脇がすぐ山であるため、これまでも度々雪崩が発生しています。その対策が急務でしたが、地形的要因などもあり、効果的な工法の検討を進めてきました。

こうした中、立木を利用した金網柵を設置することで道路への流出を防ぐこととし、現在、地権者の同意を得て、用地取得、立木等物件補償の事務を進めています。今後、GPS（※）利用による用地測量の確定作業が終了後、本工事に移行する予定です。

現在設置を進めている雪崩防止柵は、雪崩発生の度合いが高く心配される区間であり、それ以外の区間は地形の状況や積雪状況などの危険度合いを見ながら、雪崩防止柵などのハード対策を段階的に進める考えです。

なお、車両や歩行者の安全確保を図るため、通行者への注意喚起を、引き続き行っています。

（※）GPS
人工衛星から発信される情報を利用して位置関係を測定し、現在地を知るシステム

問 第三セクター経営の状況は

議員 第三セクター3社の経営状況を伺います。

答 健全経営で収益も安定

町長 全国的に第三セクターの赤字経営が問題視される中、本町の第三セクター3社の経営は健全で収益も安定しています。

また、町と連携して町が持つ地域資源を活用し、それぞれが特徴を持った取り組みを進め、町内産業の牽引と雇用の場を創出、交流人口の拡大など、第三セクターとしての役割を果たし、町づくりに貢献しています。

現在の健全な経営状況を堅持しつつ、多様化する社会情勢、顧客ニーズに適切に対応しながらも、町が持つ地域資源を生かす取り組みを積極的に進めていきます。

問 災害時の町の業務への影響は

答 少人数職員で対応が可能

議員 県地域防災計画に基づいて災害時に後方支援拠点が設置された場合、町の業務への影響は。後方支援拠点の運用に関係する県との訓練を進める考えは。

町長 県では26年3月に「岩手県広域防災拠点配置計画」を策定し、大規模災害発生時における広域支援拠点として盛岡市と花巻市の2市、後方支援拠点として二戸市、遠野市、北上市と本町の3市1町を指定しています。

本町で後方支援拠点として利用される施設は、支援部隊の活動拠点機能として「総合運動公園、くずまき高原牧場、道の駅くずまき高原」、物資や資機材の備蓄機能として「社会体育館機械室」、

物資等の受入や分配機能として「くずまき高原牧場」、ヘリコプター基地機能として、「総合運動公

園、くずまき高原牧場」、情報伝達収集機能として「葛巻小学校、グリーンテージ」の各施設が利用されることとなります。広域防災拠点が開設された場合に町職員の関与が想定される主な業務は、情報伝達収集機能を後方支援する連絡調整です。比較的少人数の職員で対応可能なため、町の業務継続に支障が生じる影響は、ほとんどないと考えます。

災害の発生場所、規模によっては、現場活動などでの応援を求められる

ことを想定する必要があります。そのため、非常時での組織体制づくりや訓練などに取り組んで行く考えです。27年3月に「岩手県広域防災拠点運用マニュアル」が策定され、平常時の準備の項目中に「訓練等の実施」が明記されています。今後、県の総合防災訓練などに合せて実動訓練などが企画されていくもので、参加要請があった際には、広域防災拠点と指定されている施設と協力しながら、積極的に訓練に取り組んでいきます。



葛巻中学校で行われた総合防災訓練の様子

マイナンバー制度の運用を万全に



個人番号カード（表面）のイメージ図

12月定例会議などで、条例の制定や一部改正などの審議が行われ、原案どおり『決定』しました。主な内容は次のとおりです。

● 町税条例の改正
地方税法の改正によって地方税の猶予制度が見直され、徴収の猶予などに関する規定を定めまし

(※)マイナンバー制度
住民票をもっている全ての人に12桁の番号を付けて、税や社会保障などの分野で効率的に情報を管理するための制度

● マイナンバー制度(※)
の実施に当たり、個人番号の利用、特定個人情報提供などが行える事務を特定するための、取り扱ひ基準などを定めまし

● 条例制定・改正
行政手続における特定の個人を識別するための個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

● 指定管理者の指定
町有施設の指定管理者の指定を、左の表のとおり決定しました。指定期間は、いずれも28年4月1日から33年3月31日までの5年間です。

施設名	指定管理者名
葛巻町地域情報通信基盤施設	岩手ケーブルテレビジョン株式会社【継続】
葛巻町コミュニティ防災センター	葛巻町コミュニティ防災センター運営協議会【継続】
くずまき斎苑	J Aライフセレモ【継続】
葛巻町社会体育館、総合運動公園	特定非営利法人葛巻町体育協会【継続】
町立コミュニティセンター等	自治会、町内会、部落会【継続】
養護老人ホーム葛葉荘	社会福祉法人誠心会【継続】
吉ヶ沢児童館、冬部児童館	社会福祉法人葛巻町社会福祉協議会【継続】
ふれあい宿舎グリーンテージ	株式会社グリーンテージくずまき【継続】
グリーンパーク袖山ハウス	一般社団法人葛巻町畜産開発公社【継続】
馬淵川源流公園	
くずまき交流館プラトール	
くずまきミルク公園	
ミルクハウスくずまき	
くずまき高原体験交流センター	
葛巻町森林公園	
葛巻町山地酪農研修センター	
森の館ウッディ	

● 定住促進住宅条例の改正
五日市地区に、家族向け2部屋、单身向け4部屋の定住促進住宅を整備しました。
4月1日から入居開始の予定です。

● 人事案件
● 監査委員の同意
町の監査委員（知識経験者1人・議会選出1人）の選任に同意しました。知識経験者委員には馬淵文雄氏（小田）議会議長が選任されました。両委員とも再任です。
馬淵委員の任期は28年1月23日から4年間で、辰柳委員は議員の任期中です。



たつやなぎ 辰柳 敬一 議員

問 牛舎建築に町産材の活用は

答 積極的な活用とコスト削減を検討

議員 牛舎建築における町産材及び集成材の活用の考えを伺います。
町長 26年度に「新葛巻型酪農構想」を策定し、効率的かつ合理的な生産により、酪農の高付加価値化を目指すことを目標に取り組んでいます。構想の実現に向け、国や県の事業を活用しながら事業化を進める方針です。現在、農家の規模拡大支援として、国の畜産公共事業で県農業公社が事業主体となる「草地畜産基盤整備事業」の葛巻第二地区の採択に向け、農家の取りまとめを進めています。

削減が大きな課題です。このような中、牛舎建築における町産材などを活用していくことは可能であり、林業振興の観点からも有力な選択肢です。一方で、建築コストの削減が大きな課題のため、今後は町産材などの利用を希望する農家の声を踏まえ、町産材の利用とコスト削減が両立するように進める考えです。
問 定住につながる雇用の場の確保は
議員 定住し住み続けるためには雇用の場の確保が重要ですが、今後の取り組みを伺います。

答 企業誘致を促す規制緩和を要望
町長 定住対策の推進として、第三セクターを中心とした地域産業の振興や製造加工業などの企業誘致により、雇用の創出に努めてきました。
問 学校施設整備今後の計画は
議員 学校施設整備の今後の計画を伺います。
町長 最も古い江刈小学校の校舎は、28年度末の



耐震化補強工事が進む小屋瀬小学校

一方で、農家や商店では後継者不在などにより労働力の確保が困難な状況のため、地域産業の振興と合せ、雇用や労働者の確保対策が急務です。今後、誘致企業が都市部以上の恩恵が受けられるように、電気供給や税分野などでの規制緩和を国に働きかけるほか、町の資源を活用した産業振興や関連産業の創業などの取り組みを強化します。また、近隣市町村へ通勤してでも町内に暮らしたいと思えるように、通勤によるデメリットを解消する対策を検討します。完成を目指して改築工事を進めています。小屋瀬小学校校舎と江刈中学校校舎は耐震補強工事を実施中で、安全で安心して教育が受けられる環境の確保に努めています。一方で、学校体育館トイレの水洗化、洋式化の未整備箇所があることや、学校施設の断熱性能の確保などの課題があります。快適性や耐久性の向上を図る検討を進め、より良い教育環境の中で学習に取り組むことができる学校施設の維持管理に努めます。

議員の判断 (議決結果)



○12月定例会議・1月会議などで、議員の判断で決定した議案 (*賛否が分かれた議案はありませんでした。)

議案番号	議案名	議員名	議決結果	畑福弘	山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	小谷地喜代治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久
議案45号	平成27年度葛巻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案46号	平成27年度葛巻町一般会計補正予算(第3号)...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案47号	平成27年度葛巻町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案48号	平成27年度葛巻町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案49号	行政手続における特定の個人を識別するための個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案50号	町税条例の改正...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案51号	町定住促進住宅条例の改正...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案52号	連携中核都市圏の形成に係る連携協約を締結することの協議...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案53号	東京電力株式会社原子力発電所事故に係る和解...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案54号	盛岡地区広域消防組合規約の一部変更の協議...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案55号	公の施設(葛巻町地域情報通信基盤施設)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案56号	公の施設(葛巻町コミュニティ防災センター)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案57号	公の施設(くずまき斎苑)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案58号	公の施設(町立体育施設)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案59号	公の施設(町立コミュニティセンターなど)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案60号	公の施設(養護老人ホーム葛葉荘)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案61号	公の施設(町立児童館)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案62号	公の施設(ふれあい宿舎グリーンテージ)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案63号	公の施設(グリーンパーク袖山ハウス及び馬淵川源流公園)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案64号	公の施設(町立体験交流施設等)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案65号	公の施設(葛巻町山地酪農研修センター)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案66号	公の施設(森の館ウッティ)に係る指定管理者の指定...		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意1号	監査委員の選任に関し同意を求めること...		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意2号	監査委員の選任に関し同意を求めること...		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

* ○は原案に賛成。
 * 除斥は、議案と一定の利害関係がある議員は、その審議に参加できないため退席します。
 * 議長は採決に加わりません。

27年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	△2117万円	63億9057万円
特別会計		
農業集落排水事業	1307万円	2億753万円
病院事業(資本的支出)	7億円	7億6872万円

《主な予算の使いみち》

- 葛巻病院の建設整備費..... 7億円
- 企業立地促進助成金..... 2000万円
- 農地の集積に対する支援(集積協力金)..... 767万円
- 林道鷹ノ巣・鰻沢線排水路整備工事..... 700万円
- 地域情報通信基盤施設修繕等業務..... 620万円

12月定例会議などで、27年度補正予算の審議が行われ、原案どおり『決定』しました。主な内容は次のとおりです。

新葛巻病院 建設業社決まる

《葛巻病院新築工事の入札結果》

種別	契約の相手方	契約金額(税込)
建築	日本住宅(株)(盛岡市)	14億1696万円
電気設備	岩手電工(株)(盛岡市)	4億6440万円
機械設備	(株)双葉設備アンドサービス(盛岡市)	7億8624万円

一般会計は、2117万円を減額し、総額を63億9057万円としました。各会計の補正額と主な予算の使いみちは上の表のとおりです。

また、葛巻病院新築工事の入札が行われ、建築工事などの業者が決まりました。入札結果は左の表のとおりです。

補正予算

【主な質疑】

企業立地助成事業の内容は 企業立地促進助成を活用する、事業者の業務内容は。

問 町内の製材事業所の跡地を活用して、パルプ用チップ、木質ペレット製造を計画しています。28年3月初旬の開業予定で、町内雇用を5人程度見込んでいます。

答 町内の携帯電話不感地帯と、不感地帯の解消計画は。

問 江川馬淵の畑、小屋瀬の弓弦部と尻喰、根地戸、上外川、下外川、土谷川です。現在、土谷川地区に携帯電話基地局の設置を進めており、この工事によって6世帯が解消されます。

問 町内の携帯電話不感地帯と、不感地帯の解消計画は。

答 江川馬淵の畑、小屋瀬の弓弦部と尻喰、根地戸、上外川、下外川、土谷川です。現在、土谷川地区に携帯電話基地局の設置を進めており、この工事によって6世帯が解消されます。

問 町内の携帯電話不感地帯と、不感地帯の解消計画は。

答 江川馬淵の畑、小屋瀬の弓弦部と尻喰、根地戸、上外川、下外川、土谷川です。現在、土谷川地区に携帯電話基地局の設置を進めており、この工事によって6世帯が解消されます。



設置数が増加している合併処理浄化槽の設置の様子

問 本年度中に計画している浄化槽の設置数は。浄化槽を1基設置した場合に、普及率は何%増加しますか。

答 本年度中に、28基設置する計画です。浄化槽を1基設置することで、普及率が0.05%増加します。

問 本年度中に計画している浄化槽の設置数は。浄化槽を1基設置した場合に、普及率は何%増加しますか。

答 本年度中に、28基設置する計画です。浄化槽を1基設置することで、普及率が0.05%増加します。

議会用語 一回火宅

除斥

12月定例会議の審議中に、議員が議場を出入りする場面がありました。これは、議会の審議を公平に行うために、審議する議案と一定の利害関係がある議員は、その審議に参加できないため退席します。これを除斥といいます。指定管理者の指定の議案で、指定を受ける団体の役員に議員が就任している場合などが除斥に該当します。



お詫び

くずまき議会だよりNo.172号の2ページ下段の見だしに、記載の誤りがありました。お詫びして訂正します。

【誤】 町長4期目の所信を表明

【正】 町長3期目の所信を表明

ふるさと懇談会を終えて



江刈中学校2年 小野寺 雄飛さん
(生徒会書記)

ふるさと懇談会に参加するまではどのようなことをするのか分からずに緊張していましたが、始まる前に議員の方々に声をかけていただいたおかげで、自分の意見をしっかりと言うことができました。議員の方々の話を聞いて、自分の学校やその付近のことしか考えていませんでしたが、議員の方々は町全体の発展のことまで考えていて、とても視野が広いことがわかりました。そして、僕ももっと全体のことを見られるようになりたいと思いました。これからは葛巻町の発展に貢献していきたいと思っています。



小屋瀬中学校2年 江田 智哉さん
(生徒会会長)

ふるさと懇談会に参加し、とても緊張しましたが、議長さんや議員の皆さんが発表しやすい雰囲気を作ってくださり安心して発表できました。僕は町の観光と雇用の拡大について意見を発表しました。僕が驚いたことは、議員の皆さんが台湾で町のPRをしたことです。このことから、議員の皆さんは一つ一つの活動において町のためにいろいろな工夫を取り入れていることを知りました。この懇談会に参加した経験を通じて自分も葛巻町の一員として町政に参加できることを知り、もっと町の政治に目を向けて生活していこうと思いました。



葛巻中学校2年 安東 隼希さん
(生徒会常任議長)

ふるさと懇談会に参加し、葛巻町がさらに発展していくためにどうすればよいのか、他校生徒会の人たちと一緒に話し合いました。僕が3つの中学校を統合したほうが良いのではと意見を出したところ、それは議会で時間をかけて話し合っていきたいということでした。話し合いをされていて、葛巻町に住んでいても知らないことがたくさんあり、町では色々な取り組みをしていることを学ぶことができました。これからは葛巻町の発展のために、自分にできることをしていきたいと思いました。

私たちの思いを町政に!!



中学生とのふるさと懇談会

町内3中学校の生徒会役員との懇談会の様子

議会では、町民に開かれた議会を目指し、多くの意見や声を聴く機会として、議会報告会「ふるさと懇談会」を開催しています。町内3中学校の生徒会役員と、町政などに対する意見交換を行いました。その内容をお知らせします。

自分の考えを積極的に発言

平成27年11月30日、町内3中学校の生徒会と「ふるさと懇談会」を開催しました。中学生との懇談会は初の試みです。生徒からは議会や町づくりに関する質問、要望などが積極的にだされ、和やかな雰囲気の中で意見を交換しました。主な要望や意見の内容は、次のとおりです。

学校施設など環境の充実を

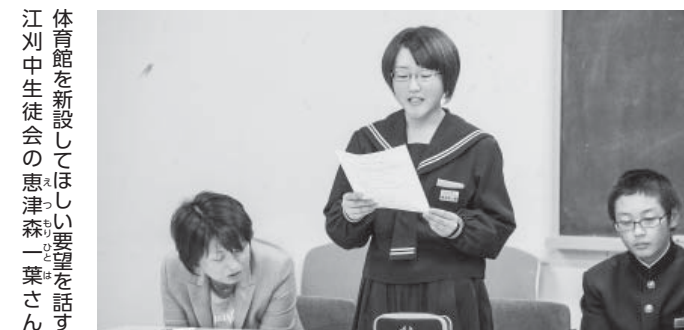
◇小平沢地区から山岸地区までの生徒が、スクールバスを利用できるようにしてほしいです。
◇江刈中学校から泉田地区までの通学路で街灯が少ない箇所があり、下校時は暗い状況です。街灯を設置してほしいです。

しない暖房器具があります。

◇江刈中学校の体育館を新築してほしいです。古くなり隙間だらけで、冬は氷点下の中で体育の授業やクラブ活動を行っています。また、ギャラリーの床が壊れている箇所があります。

◇子どもの数が減少しています。学校を統合して生徒数が増えたと、授業も活発になると思っています。

◇江刈中学校の暖房を増やしてほしいです。校舎が古くなって冬期間は暖まりにくいです。温度調節が上手く作動



体育館を新設してほしい要望を話す江刈中学生会の恵津森一葉さん

今後進めていく町づくりに期待

◇町外から来る人を増やすために、都市部との行き来を便利にするための道路整備が必要だと思えます。

◇子どもが増えて家族と一緒に暮らすことができるように、働く場所が多くあれば良いと思います。

議会の考え方

負担が増えています。介護の負担を軽減する取り組みを考えてほしいです。

懇談会では多くの意見や要望がだされました。議会では皆さんの要望を実現するための方法や今後の町づくりについて、皆さんの声を聴きながら一緒に考えていきます。



町の道路整備の取り組み状況を質問する葛巻中学生会の佐藤春奈さん(中央)

◇高齢化で施設に入所する方が増加し介護者の

「ふるさと懇談会」の開催を希望する場合は、議会事務局にご相談ください。
☎ 66-2111 (内線321) FAX 66-2780



酪農学園の麻田理事長の歓迎を受ける委員ら（上）と約4時間に及び講義に聴き入る委員（下）

酪農学園大学・荒木教授に聴く

酪農学園大学は、190万人都市である札幌市の隣、江別市にあります。同大学の教授で、葛巻町に数回足を運び町の酪農を調査した荒木和秋教授に「葛巻町の酪農展望、自給粗飼料生産構造の改革」と題して講演をいただきました。

北海道における酪農経営規模は拡大しているものの飼料費の増大などにより、所得水準は低迷し、補助金により辛うじて収支を保っている現状を説明されました。またTPP（環太平洋

北海道酪農も低迷

高品質な牛乳生産を 葛巻酪農の発展方策は？

酪農の本場ニュージーランドでは、徹底的なコスト意識による経営により、牛舎やサイロなど利益を生まない施設は所有しない、集約放牧と季節繁殖を行い、生活中心の酪農をしていることが紹介されました。

放牧はメリット大

また放牧は、牛の動きを活用し、機械や施設労働、エネルギーの節約によりコストの縮減のほか短草利用で高栄養吸収、電気牧柵による牛のコントロールなど多くのメリットがあることも併せて話されました。

「傾斜地の多い葛巻町でも可能か？」という議員の質問に「山地は地価も安く有利。少ない農地でも時間放牧で可能」と太鼓判を押しました。

北海道足寄町では「放牧の町宣言」をし、放牧を推進。経営改善が進み新規就農者や子どもが増加した事例も報告され、興味深い取り組みです。

今後の葛巻酪農は

葛巻町の酪農発展の方

策は、地域にある資源を生かすこと、TPPに対抗できる高品質牛乳の生産、高齢農家の存続と新規就農者の受け入れが重要と荒木先生は力を込めました。

研修を通じ、委員から「放牧を含めた自給飼料活用によるコスト削減方策の検討、高品質の牛乳生産、生産者から直接消費者へ製品を届ける方策の追求が重要」という意見がありました。

まちむら (株)町村農場
生産から販売まで

酪農学園大学と同じ江別市で乳牛340頭を飼育し、生乳生産から加工販売まで自社で行う(株)町村農場を視察。酪農の生き残りをかけ酪農特有の悪臭対策のため導入したバイオガスプラントは、住民の苦情解決へとつながっている事例でした。



(株) 町村農場を訪れた委員ら

輝くふるさと常任委員会 研修レポート

新ひだか町訪問と 北海道酪農を学ぶ



姉妹町村の北海道新ひだか町役場で、酒井町長をはじめ多くの職員の出迎えを受けた町長、議長ら

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、10月26日から28日までの3日間にわたり、姉妹町村の北海道新ひだか町、酪農学園大学、(株)町村農場を視察。葛巻町と新ひだか町の絆を確認するとともに、今後の葛巻町酪農の展望について研修しました。

姉妹町として32年間 鈴木町長も同行視察

昭和58年6月に旧三石町と友好の契りを結んで32年。この間、首長交流や物産交流、小学生のスポーツ交流などを続けてきました。

その三石町は平成18年3月に静内町と合併し「新ひだか町」として10年を経過しました。

このたび議会では、新ひだか町が進める先進事例を視察し今後のまちづくりや議会の活性化の参考とするため、鈴木重男町長とともに全議員が新ひだか町を訪れました。玄関で職員の拍手で迎えられたあと町長室で酒

固い、友好の契り、再確認 北海道 新ひだか町（旧三石町）

■新ひだか町の概要
平成18年3月、三石町と静内町が合併して誕生。人口25,000人。歴史的名馬オグリキャップなどを輩出した「競走馬のふるさと」として有名。

井町長らのおもてなしを受け、両町の近況や産業振興について情報交換し、今後も交流を続けさらに絆を深めることを再確認しました。

ドリカム推進事業で 町民の夢実現を応援

町民の夢の実現を応援しようと平成23年度に事業開始した「ドリカム推進事業」について説明を受けました。

この事業は、町の資源を活用した地域特産品の開発と販路開拓への取り組みに対する経費の半分を助成するもので、最高50万円です。審査は町の商工会、農協や消費者協

会など民間感覚を取り入れて行います。これまでもご当地グルメ開発やネットを活用した情報発信、首都圏販売事業など12件が認められました。また合わせて事業展開されている「新ひだか推奨品認証制度」により認証された推奨商品は35品。これら商品は「推奨品」のシールが貼られ道の駅などで販売されています。委員からは「意気込みを感じた。事業者の自信につながる事業で参考になった」という意見が聞かれました。

このあと昨年7月オープンの町立図書館と博物館の複合施設を見学しました。

くぼ かのか さん

(江刈中学校2年)



最近、全国的にも交通事故などが多く、よくニュースで話題になっています。昨年は葛巻町でも交通事故がありました。

安全を呼びかける放送などを行って、交通事故が全くない安全な町づくりを望みます。

うえの りこ さん

(葛巻小学校6年)



昨年の夏休みに、「子ども議会」に参加しました。とても貴重な体験で、自分たちの住んでいる町のことについて考える良い機会となりました。

これからも「子ども議会」のように、葛巻町の子どもたちが活躍できる機会をたくさん作ってください。

漆真下 トヨさん

(女性団体連絡会会長)



若い人たちの働く場所があって、ランドセルを背おった子どもたちがどこの地域にもいるような、そして、高齢者が安心して暮らせる住みよい町づくりを目指してほしいです。

町民の細やかな意見も取り入れながら、新たな気持ちで4年間の議会活動に尽力されることを期待します。

かくち やすひろ さん

(葛巻高校2年)



葛巻高校の生徒数が年々減っていますが、活気ある学校を目指して生活しています。

山村留学の導入やスクールバスの運行など、町からの支援に助かっています。

今後の生徒数の確保と葛巻高校存続のためのさらなる方策や、町がさらに活性化するように議会に期待しています。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月 14,000円 (江刈川地区交流10周年記念感謝の集いほか)

11月 126,336円 (町勢功労者表彰式ほか)

12月 34,000円 (消防団防火懇談会ほか)

次の定例会議は3月4日(金)です。

編集後記

今回の議会だよりは、議会改選期と重なり、編集は新旧委員の引き継ぎの形で発行しました。委員は5人ですが、新委員が3人となり、新たな編集の充実と皆さまに親しまれる紙面づくりに一層努力します。

葛巻の2月は、一番の厳寒期です。少しずつ日の長さが感じられますが、春の訪れが待ち遠しい今日この頃の心境です。どうぞ4年間よろしくお願ひします。

広報常任委員会

委員長 柴田 勇雄